

天下茶屋駅(地下鉄堺筋線)②

吉田兼好ゆかりの地・聖天山を登れば

天下茶屋駅(南海本線・高野線) 北天下茶屋駅(阪堺電車阪堺線)
岸里駅(地下鉄四つ橋線)

「大阪あそび歩マップ集」
その1 No.034

地下鉄天下茶屋駅

①天下茶屋あられ

備長炭を使い、春夏秋冬と年がら年中、手焼きのおかきを作って40数年という老舗おかき屋です。じつは西成・天下茶屋界隈は雨が少なく、おかき作りには最適な土地で、老舗のおかき屋、せんべい屋などが少なくないといえます。



②山女庵

山女庵は、昭和56年(1981)に天然鳥獣山菜魚料理(フランスではジビエと呼ばれる)の店として開業。春には山菜、夏には天然うなぎや鮎、秋には数種類のきのこ、冬には鹿やイノシシなど、店主みずから山に入り、川を渡り、食料を調達してきました。囲炉裏があり、狩猟道具や鹿の角、野鳥の剥製などが飾られている山小屋風の店内も、野性味があふれていて見ものです。

③八條工房

おもに東映系の劇場(道頓堀東映パラスなど)の映画看板の制作を引き受けている工房です。時代の変化とともに映画館から手描き看板は消えつつありますが、昔ながらの味のある手描き看板を制作しています。

④紀州街道

中世以降、大阪湾沿いの村落を

結ぶ街道として整備されました。大坂城と住吉大社を結ぶ道路として拡幅され、豊臣秀吉がしばしば住吉大社に参詣したこともあって賑わいを増しました。江戸時代には紀州藩が参勤交代に利用するようになり、街道整備を行いました。

⑤聖天山正圓寺

天慶2年(939年)光道和尚により開基され、元禄年間(1688~1704)に義道見明和尚が中興しました。地元では「聖天さん」と親しみをこめて呼ばれています。西成区と阿倍野区の境界にあり、春は桜見物で賑わいます。上町台地の西崖で、二上山からの原生林の流れは、この正圓寺まで続いているといえます。千利休の師匠である武野紹鴎遺愛の手水鉢などが伝わっています。元禄時代の石段をのぼると、はるか大正区まで見渡せる素晴らしい眺望が待っています。

⑥兼好法師の藁打ち石

『徒然草』で有名な吉田兼好は、実の息子のように可愛がっていた南朝の武将・北畠顕家が北朝軍と戦って阿倍野で戦死するとたいへん悲しんで、顕家討死の場所近くに庵を構えて藁を打ち、箆を織って生計を立て、読経三昧に菩提を弔ったといえます。それが正圓寺で、参道入口に「兼好法師隠棲跡碑」と「兼好法師藁打ち石」があります。

⑦コーヒールンバ

天下茶屋駅前商店街の東端に当たる阪堺電車の「北天下茶屋駅」のホーム内にあります。昭和の情緒を色濃く残す純喫茶として人気があります。



阪堺北天下茶屋駅

